

ヤマナメクジ

澄川森林の建築途上の避難小屋の傍で参加者全員が昼ご飯を食べていました。突如釣井さんが素っ頓狂な声を発しました。何事かといぶかりますに「ナメクジに触った」とのこと。どれどれと近づいて見てびっくり、大きなナメクジでした。腰掛けていた板の側面にとりついていました。取り敢えずデジカメでスケールを当てて撮影しました。体長約10cm、確かにこれまでに見たナメクジより大きいと思いました。画像には2015年7月4日11時53分と記録されました。



帰宅して調べてみました。ナメクジの種類が多いことがわかりましたが、ヤマナメクジだと判断します。大きいものになると20cmちかくにもなるようなのです。カタツムリが進化して、殻が退化したのがナメクジであると説明されていますが、護身のための貝殻を捨てて、すっぽんぽんの丸裸になったからには、なにかの自信があるのでしょう。毒を持っているのかも、と思いますが。ネットの写真に串刺しにして炙ったものがありました。食べられるようなのです。焼こうが煮ようが個人的にはご辞退もうしあげます。



ヤマナメクジが何を食べているのか調べてみるに、朽ち落葉や朽木だとの記載がありましたが、先日テレビである種のカタツムリがミミズを捕食しているのを確認しました。以前にもテレビで海の中で大きな巻貝が眠っているそこそこ大きな魚に触手で麻酔毒を刺しまして動きを封じてからやおら飲み込む映像を観たことがありますので、この大きなヤマナメクジならばミミズなんぞはひとのみだろうと推察したくなります。ネットでのある情報では分布は北海道を除く全国とありましたが、北海道にも分布している証拠として記録されました。

この日の作業は大工組とニセアカシヤ退治組にわけて、試験的なニセアカシヤ巻き枯らし作戦を実施し、午後からは薪づくりをしました。避難小屋というより、東屋といたい壁なしなので風避けはできない雨雪避け建物ですが、大工組は屋根葺きを残すのみ、いよいよ完成に近づきました。

